

学長定例記者会見要項

日 時： 令和4年10月6日（木） 11：00～11：45

場 所： 法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟3階）

発表事項

1. 佐々木由佳准教授が令和4年度ソロプチミスト日本財団女性研究者賞を受賞
2. やまがた社会共創プラットフォームを設置～全国屈指の地域連携プラットフォームが山形に誕生します～
3. STEAM 教育を楽しく体感できる「やまだいキッズラボ2022」開催
4. 山形の火山や鉱物について学ぶ公開イベント～大人向け公開講座と小学生対象ワークショップを同時開催～
5. 山形大学認定ナセバース研究グループ設立～メタバースやロボット・IoT を活用し地域コミュニケーション支援～
6. 米糠タンパク質濃縮物からの代替肉調製に成功～国内産原料からの代替肉製造による持続的な稲作の可能性～
7. 人文学部法経政策学科法律コース（現・人文社会科学部総合法律コース）から法曹の道へ

お知らせ

1. 山形大学アグリフードシステム先端研究センター（YAAS）キックオフイベントを開催します
2. 山大生が地元企業の若手社員を取材・情報発信～Instagram「働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業」第3弾～
3. 公開講座「小説を書こう！」受講者を募集します
4. 旧米沢高等工業学校のレインボーライトアップで性の多様性PR～県内初の「やまがたカラフルパレード」との協働、LGBTQ の理解促進～

（参 考）

○ 次回の学長定例記者会見（予定）

日 時：令和4年11月10日（木）11：00～11：45

場 所：法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟3階）

学長定例記者会見（10月6日）発表

1. 佐々木由佳准教授が令和4年度ソロプチミスト日本財団女性研究者賞を受賞

鶴岡キャンパス長

学術研究院准教授（農学部担当）

むらやま ひでき
村山 秀樹

ささき ゆか
佐々木 由佳

2. やまがた社会共創プラットフォームを設置～全国屈指の地域連携プラットフォームが山形に誕生します～

山形大学副学長（社会共創担当）

おおもり かつら
大森 桂

3. STEAM 教育を楽しく体感できる「やまだいキッズラボ 2022」開催

地域共創 STEAM 教育推進センター長・山形大学副学長（社会共創担当）

地域共創 STEAM 教育推進センター統括責任者

おおもり かつら
大森 桂

くりやま やすなお
栗山 恭直

4. 山形の火山や鉱物について学ぶ公開イベント～大人向け公開講座と小学生対象ワークショップを同時開催～

学術研究院教授（地質学・古生物学）

もとやま いさお
本山 功

5. 山形大学認定ナセバース研究グループ設立～メタバースやロボット・IoT を活用し地域コミュニケーション支援～

学術研究院准教授（大学院理工学研究科担当）

学術研究院助教（大学院理工学研究科担当）

大学院理工学研究科博士後期課程（工学系）機械システム工学専攻3年

よこやま みちお
横山 道央

はらだ ともちか
原田 知親

たかぎ みのる
高木 稔

6. 米糠タンパク質濃縮物からの代替肉調製に成功～国内産原料からの代替肉製造による持続的な稲作の可能性～

学術研究院教授（農学部担当）

わたなべ まさのり
渡辺 昌規

7. 人文学部法経政策学科法律コース（現・人文社会科学部総合法律コース）から法曹の道へ

学術研究院教授（人文社会科学部主担当）

人文学部法経政策学科法律コース卒業生

おがさわら なな
小笠原 奈菜

きまた てつ
木俣 哲

令和4年（2022年）10月6日

佐々木由佳准教授が令和4年度ソロプチミスト日本財団 女性研究者賞を受賞

【本件のポイント】

- 公益財団法人ソロプチミスト日本財団が実施している令和4年度の支援事業において、山形大学農学部附属やまがたフィールド科学センターの佐々木由佳准教授が、「女性研究者賞」を受賞。
- 女性研究者賞は、教育、科学技術、医療技術、環境、IT技術、介護福祉、社会福祉、伝統技術、伝統文化、文学、経済学、健康、平和などさまざまな分野で将来性のある研究をしている優秀な女性1名に対し、研究費が支援される。
- 山形県からの受賞者は、今回が初となる。



【概要】

公益財団法人ソロプチミスト財団が実施している令和4年度の支援事業において、山形大学農学部附属やまがたフィールド科学センターの佐々木由佳准教授が「女性研究者賞」を受賞しました。

山形県からの受賞者は今回が初であり、また同賞の受賞者は、全国で1名となります。

ソロプチミスト日本財団女性研究者賞は、2013年、同財団の創立30周年を記念し、女性研究者へ躍進の機会を与えることを目的として創設されました。同賞は、教育、科学技術、医療技術、環境、IT技術、介護福祉、社会福祉、伝統技術、伝統文化、文学、経済学、健康、平和などさまざまな分野で将来性のある研究をしている優秀な女性に対し、研究費500万円が支援されます。

今後は、当該研究費の支援を受けて、女性研究者賞応募への研究テーマでもある「地域内有機資源を活用した費用対効果の高い水稲用肥料とその施肥設計システムの開発」について、さらに研究を進めていくこととなります。

なお、同賞の贈呈式については、11月8日（火）に広島県立総合体育館（広島グリーンアリーナ）で開催される予定です。

【贈呈式】

日時：令和4年11月8日（火） 14:00～16:30

式典会場：「広島県立総合体育館」広島グリーンアリーナ（広島県広島市中区基町4-1）

【研究テーマ】

「地域内有機資源を活用した費用対効果の高い水稲用肥料とその施肥設計システムの開発」

【研究目的および計画概要】

農林水産業や食品加工の現場で発生する有機性廃棄物を肥料化し、その肥料を水稲栽培に利用する仕組みの構築を目指す。令和4年度は肥料化に用いる有機性廃棄物の種類の選定と肥料化の方法について、令和5年度は試作した肥料を用いた水稲の栽培試験や肥料成分の溶出パターンについて検討し、令和6年度にこれまでの結果をとりまとめるほか、2年目の栽培試験または肥料化の再検討を実施する予定。

【佐々木由佳 プロフィール】

准教授/専門は栽培土壌学。宮城県出身。山形大学農学部卒業、山形大学大学院農学研究科修了、岩手大学大学院連合農学研究科修了、博士（農学）。農業環境技術研究所研究員、山形大学農学部（附属やまがたフィールド科学センター）助手、助教を経て現在に至る。これまでに行った主な研究は、水田での窒素やケイ酸の施肥管理や水管理が水稲の生育や養分吸収量に与える影響、水田への有機物施用が土壌肥沃度に与える影響、水田土壌の肥沃度の空間変動に関する研究など。

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

※詳細は、ソロプチミスト日本財団のホームページをご覧ください。

<https://www.soro-jpf.net/>

研究内容に関するお問い合わせ

学術研究院准教授 佐々木由佳（栽培土壌学/農学部担当）

TEL： 0235-24-9983 メール： yukas@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

令和4年（2022年）10月6日

やまがた社会共創プラットフォームを設置 ～全国屈指の地域連携プラットフォームが山形に誕生します～

【本件のポイント】

- 地域が抱える課題を共有し、その解決に向けて関係諸団体が恒常的に議論する場として、本学が事務局として運営を行う地域連携プラットフォーム「やまがた社会共創プラットフォーム」を設置することとした。
- 本プラットフォームには、山形県内の13の高等教育機関、山形県と35の市町村、県内の10の主要関係団体が加盟している。このように多様な業種の団体の参加、全市町村の直接参加している例はなく、全国屈指の規模を誇る地域連携プラットフォームとなる。
- 令和4年10月13日（木）に第1回目の協議会をホテルメトロポリタン山形にて開催する。



【概要】

これまで、各地域単位で、地方自治体や産業界、そして高等教育機関が、それぞれの立場で地域課題の解決に向け、様々な取組を行ってきました。しかしながら、地域の課題は多様な要素が絡む複雑なものも多く、また絶えず変化もしており、もはや、地方自治体、産業界、高等教育機関、それぞれの立場からの努力だけでは、課題の解決やイノベーションを創出することは限界になってきております。

このような状況を踏まえ、本学は、地域を支える地方公共団体、産業界、高等教育機関等が一堂に会し、地域が抱える課題を共有し、その解決に向けて関係諸団体がお互いの立場を越えて、同じテーブルで議論を交わす必要があると考え、地域連携プラットフォーム「やまがた社会共創プラットフォーム」の設置に至りました。

本プラットフォームには、趣旨に賛同いただいた山形県内全ての高等教育機関（13機関）、山形県と県内35全市町村、山形県商工会議所連合会、山形県銀行協会、山形県経営者協会、山形県医師会など10の県内主要関係団体、あわせて59機関が加盟しています。これは、全国でも稀にみる規模のプラットフォームとなります。

活動の第1歩として、令和4年10月13日（木）に第1回目の協議会を開催します。本協議会を皮切りに、加盟機関に対するヒアリングなどを行い、山形県内の地域課題を共有し、県内高等教育機関と関係機関が課題克服に向けた具体的な事業を実践する場を構築していきます。

そして、山形県内における産学官金医の連携の下、地域を支える多様な人材の育成及び県内産業の変革に貢献できる人材を創出するとともに、高等教育機関が有する様々な知的資源の更なる活用による地域の新たな価値を創出することにより、地域の持続的発展に貢献していく所存です。

【やまがた社会共創プラットフォーム 第1回協議会の概要】

日時：令和4年10月13日（木） 13：00～14：45

場所：ホテルメトロポリタン山形 4F 霞城の間（対面+オンラインのハイブリッド開催）

内容：事業概要説明、講演（京都大学人と社会の未来研究院 広井 良典 教授）等

※終了後、参加者で記念撮影を行います。

その他：（当日の取材について）

取材をご希望の方は、当日12：40までに会場にお越しいただき、受付手続きを行ってください。

お問い合わせ

やまがた社会共創プラットフォーム事務局／山形大学社会共創推進室

TEL 023-628-4615 メール yu-shakaikyousou@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

つながろうやまがた。紡ごう未来を。

やまがた社会共創 プラットフォーム

やまがた社会共創プラットフォームは、

様々な知的資源を有する山形県内の

高等教育機関、地元の産業界、金融界、医療界、

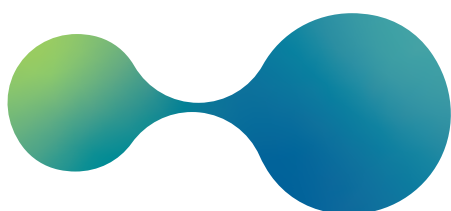
山形県及び県内自治体が密接に連携し、

地域の課題解決と新たな価値の創出に取り組み、

個人及び地域社会の

ウェルビーイング（幸福）に貢献し、

地域の持続的発展を目指します。



基本方針

1. 様々な立場・角度から地域課題を深掘りし、ニーズオリエンテッドの教育・研究・社会連携を追求する。
2. 地域の貴重なリソース（資源）・優れた連携実績を収集整理・データ化・視覚化し、共有・活用する。
3. 様々な機関が出会い、課題（ニーズ）と解決のための各種資源をマッチングする場となる。
4. 課題解決のための事業化の企画・実装の支援・先導をする。

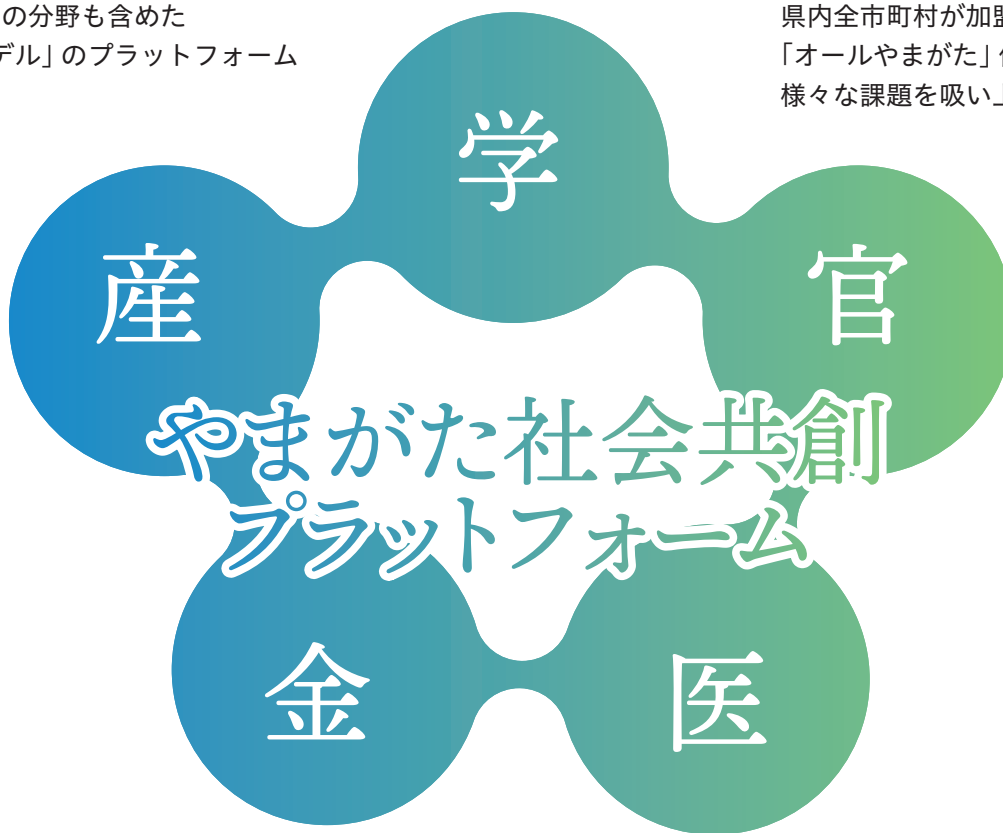
地域課題を共有し、解決に向けて 「オールやまがた」で取り組みます！

産学官金医の連携

「健康・医療」の分野も含めた
「やまがたモデル」のプラットフォーム

全国屈指の規模

県内全市町村が加盟する
「オールやまがた」体制により、
様々な課題を吸い上げ、見える化



課題解決に向けた事業実践の場

同じテーブルで恒常的に話し合い、
地域課題を共有・明確化し、具体的な方策を実践

初期戦略

1. 5つのテーマを設定「地域人材育成」「地域産業振興」「健康長寿支援」「地域活性化支援」「環境保全」
各テーマに係る地域固有の具体的な課題について、参加機関が連携して解決に取り組む。
2. 特に以下について、共通の重点事項とし、全加盟機関が総力を挙げて取り組む。
 - ①山形県内大学生の地元定着率向上（Uターン学生含む）
 - ②山形県内高等学校からの県内大学進学率向上
 - ③女性の活躍・地域定着
3. プラットフォームの活動状況を積極的に県民に広報し、利用価値の周知を図ることにより、
新たな事業化や自走化を推進し、プラットフォームの持続可能性を高める。

各高等教育機関の 取り組み例

羽陽学園短期大学

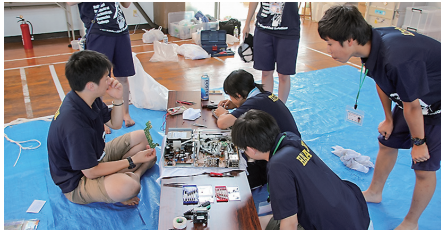
舟形町との保育事業に関する連携



町立ほほえみ保育園における研修会や短大附属園等の視察などを通じて、保育者の資質向上に寄与します。【連携自治体：舟形町】

鶴岡工業高等専門学校

テクノ・パラメディック（技術の救急隊）



物流の不便な県内唯一の離島（飛島）を舞台に、「日頃の学修を地域のために」をスローガンとした家電修理などの技術提供型ボランティア活動を行っています。「輝けやまがた若者大賞（山形県）」をはじめ、受賞多数【連携自治体など：酒田市、酒田市教育委員会など】

東北芸術工科大学

善寶寺五百羅漢修復プロジェクト



善寶寺（鶴岡市）に安置される500体の仏像を修復する事業です。本学文化財保存修復研究センターが2015年度より修復を開始し、概ね20年間をかけて完了する予定です。

東北公益文科大学

公開講座「共創の技法」

（大学院修士課程科目の公開講座）



地域づくりにおける協働・共創の技法であるファシリテーションを、ワークショップ等で実践的に学びます。【連携自治体：鶴岡市】

東北文教大学

高大連携事業で山形城北サマーチャレンジを開催



山形城北高校1年63名が、大学で専門性のある学びを体験し、進学への期待を持つことを目的に実施したものです。

山形県立農林大学校

農林大学校「農大市場」の開催



農林大学校では、生産・製造した農作物、農産加工品を地域の方に販売する「農大市場」を年間4回開催しています。

山形県立米沢栄養大学

山形県減塩・ベジアッププロジェクト事業



山形が誇る豊かな食を楽しみながら、「健康長寿日本一」を目指し、オールやまがたで「減塩」「野菜摂取量の増加（ベジアップ）」に取り組むプロジェクトです。【連携自治体：山形県】

山形県立米沢女子短期大学

米沢市民カレッジ



学園都市推進協議会では、地域と地元大学との交流事業の一環として、大学の教員を講師に迎えた市民公開講座「米沢市民カレッジ」を開催しています。【連携自治体など：学園都市推進協議会（米沢市、米沢商工会議所など）】

山形県立産業技術短期大学校

ドローン（UAV）チャレンジ



小学生を対象にしたドローンチャレンジを実施し、ドローンを使う目的や操作方法を学び、土木へ興味を持つ機会を作りました。

放送大学山形学習センター

いつでも・どこでも・誰でも学べる大学



本センターで開講する面接授業では地域の方を講師に迎え、山形を知るフィールドワーク中心の授業を行っています。

山形工科短期大学校

歴史的建造物の調査



所有者が保存すべきか検討している歴史的建造物について、調査を行ってその歴史的価値を明らかにし、今後の保存活用に繋がります。

山形県立保健医療大学

保健医療大学発 - 看護実践研究センター



県内の看護職を対象とした学び直し、研究指導、情報発信等により、山形県の看護実践水準の向上を図ります。

山形大学

-YEX- 山形大学エクステンションサービス



だれもが安心して、新たな目標にチャレンジできる「学び」を提供するリカレント教育を実施しています。

全国屈指の総合型地域連携プラットフォームが 令和4年秋、山形県に誕生します。

地域が抱える「課題」は、複雑で困難なものも多く、また絶えず変化しています。

もはや、地方公共団体、教育機関、産業界、それぞれの立場からだけで、
地域の課題解決やイノベーションを創出することは困難な状況です。

これからは、日本の人口は減り続けるという事実、正面から向き合い、

大学等の高等教育機関だけでなく、地方公共団体や産業界等が、
地域社会のビジョンや高等教育を取り巻く現状について、共有・理解を図り、
お互いの立場を越えて、恒常的に同じテーブルで議論を交わす必要があります。

そのために、山形県内の地方自治体、産業界、高等教育機関、
金融界、医学会が一体となって山形県内の地方創生について議論する場
「やまがた社会共創プラットフォーム」を令和4年秋、設置します。

やまがた社会共創プラットフォーム加盟機関

地方自治体 (山形県及び山形県内 35 全市町村)

山形県、山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、
天童市、東根市、尾花沢市、南陽市、山辺町、中山町、河北町、西川町、朝日町、大江町、
大石田町、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村、高畠町、川西町、
小国町、白鷹町、飯豊町、三川町、庄内町、遊佐町

経済団体等 (計 10 機関)

山形県経営者協会、山形県商工会議所連合会、山形県銀行協会、山形県商工会連合会、
山形経済同友会、山形県中小企業団体中央会、山形県中小企業家同友会、山形県医師会、
山形県教育委員会、山形県高等学校長会

高等教育機関 (計 13 機関)

羽陽学園短期大学、鶴岡工業高等専門学校、東北芸術工科大学、東北公益文科大学、
東北文教大学、放送大学山形学習センター、山形県立産業技術短期大学校、
山形県立農林大学校、山形県立保健医療大学、山形県立米沢栄養大学、
山形県立米沢女子短期大学、山形工科短期大学校、山形大学 (事務局)

令和4年10月13日現在

問い合わせ先

やまがた社会共創プラットフォーム事務局 (国立大学法人山形大学 社会共創推進室内)

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 Tel: 023-628-4615 / Fax: 023-628-4013

Mail: yu-shakaikyousou@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

令和4年（2022年）10月6日

STEAM教育を楽しく体感できる「やまだいキッズラボ2022」開催

【本件のポイント】

- 子ども向けSTEAM教育体験イベント「やまだいキッズラボ2022」を11月から来年2月まで計8回、多彩なラインナップで開催。
- 山形大学の教員が直接、それぞれの研究テーマについて、分かりやすく・楽しく解説。実験や体験を通して分野横断的に学び、「やまだい」を身近に感じてもらうことがねらい。
- 各回少人数制で、子ども一人一人のアイデアを大切に、対話的で深い学びをサポート。



【概要】

「つなぐちから。山形大学」をビジョンに掲げる山形大学では、「地域のこどもたちに多様な知（STEAM教育）を直に届ける開かれた大学へ」をミッションとした地域共創STEAM教育推進センター（愛称：YU★STEAM）を令和4年度に開設。

当センターでは、11月から子どもを対象に、山形大学の多彩な研究テーマについて教員から直接学び、山形大学を身近に感じ、STEAM教育の面白さを体感できる『やまだいキッズラボ2022』を開催します。今年度は、小・中学生を対象とした計8回を企画。いずれの回も、実験や体験を通じて、少人数制だからこそできる、子ども一人一人のアイデアや課題解決力を大切にプログラムとなっています。地域の皆様のご参加を心よりお待ちしております！

【開催概要】

■開催日時・タイトル

- ① 2022年11月6日（日）9:30～12:30 『ドローン謎解きレースで3次元の視点をやしなおう！』
- ② 2022年11月12日（土）10:00～15:00 『わら細工の昔の技法を体験&未来デザインを作り出そう！』
- ③ 2022年12月10日（土）13:00～15:30 『ブラックホールってなんだ！？ 作って学んでみよう！』
- ④ 2022年12月10日（土）17:00～19:00 『山形大学の天文台で惑星を観望しよう！』
- ⑤ 2023年2月5日（日）10:00～15:00 『どの形がいいだろう？ブリッジコンテスト！』
- ⑥ 2023年2月11日（土）13:00～15:00・12日（日）10:00～12:00 『植物の形をデザインしてみよう！』
- ⑦ 2023年2月19日（日）9:00～12:00 『なりきり大学の先生！？研究室訪問で実験体験！』
- ⑧ 2023年2月23日（木・祝）『HAIKU（俳句）でつながる！？ポローニャ（イタリア）と山形（日本）』

■場 所：山形大学小白川キャンパス ※②のみ大井沢自然博物館

■申込み：10月3日より随時スタート（HPをご確認ください。下記QRコードよりアクセスできます。）

■参加料：無料 ※②のみ入館料100円

■主 催：地域共創STEAM教育推進センター

■詳 細：センターHPのQRコードよりご確認ください。

■ご注意：新型コロナウイルス感染症拡大によって中止や日時変更、また、材料調達の状況により内容が一部変更になる可能性がございます。変更などについてはセンターHP等にて発表してまいります。

※用語解説

1. STEAM教育：令和元年5月より文部科学省が推進している教育。Science・Technology・Engineering・Art・Mathematics等の各教科での学習を実社会での問題発見・課題解決に生かしていくための分野横断的な教育です。



お問い合わせ

地域共創STEAM教育推進センター（YU★STEAM）

TEL 023-628-4506（SCITAセンター内）

メール yu-steam@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

やまだいキッズラボ 2022



11/6(日) 11/12(土) 12/10(土) 2/5(日)
2/11(土)~12(日) 2/19(日) 2/23(木・祝)

イベント詳細は裏面▶

未来の研究者は君だ!?

みんなのためのイベント盛りだくさん!
子供も楽しめちゃう山形大学においでよ!

やまだいキッズラボ 2022のポイント!

- 1 山形大学の先生方から直接たっぷり学べちゃう!
- 2 みんなのアイデアや発見を研究につなげられる!



《申し込み方法 & その他記載内容》

① 申し込み: WEB申し込み

※左のQRコードからお申し込みください。

※各プログラムの申し込み開始日及び締め切り日については裏面やHPをご確認ください。

HP: <https://yu-steam.com/>



② ご参加にあたって

- ▶ イベントは先着順となります。
- ▶ 写真利用及び実施後のアンケート記入へご協力下さい。
- ▶ 集合場所や持ち物などの詳細については申込者に後日連絡いたします。

③ 参加者特典

- ▶ 参加者はYU*STEAMのオリジナルグッズがもらえます。

④ 新型コロナウイルス対策へのご協力について

- ▶ 感染防止対策のために、当日の体温計測、手指消毒およびマスク着用にご協力ください。
- ▶ 感染者ならびに濃厚接触者については、保健所や医師等からの待機期間終了の指示後にご参加ください。
- ▶ 当日の体調がすぐれない場合は参加をお控えください。
- ▶ その他、感染状況を考慮した本学の活動指針により中止になる場合がございます。ご理解、ご協力の程よろしくお願いたします。
- ▶ 参加にあたって不安なお気軽にお問い合わせください。

やまだいキッズラボ 2022スケジュール

① ドローン謎解きレースで3次元の視点を養おう!

2022年11月6日(日)
9:30 ~ 12:30

ドローンって、大学ではどんな研究に使われているのでしょうか? 自分で飛ばす謎解きドローンレースを通じて3次元の視点を育てよう!

- ▶ 講師: 本山功 (理学部)
- ▶ 場所: 山形大学小白川キャンパス 第1体育館
- ▶ 対象 (人数): 小学生5年生~中学生 (16名)
- ※保護者は2名まで観覧可

申し込み開始: 10月3日(月) ※先着順



② 伝統文化ってなんだ? わら細工の技法体験 & 未来デザイン作り!

2022年11月12日(土)
10:00 ~ 15:00 (※昼食休憩1時間有)

伝統文化とは何かを学びながら、大井沢のわら細工を伝承してきた職人を先生に、幸運を呼ぶという「縁結び」を習得して、未来に向けた新しいデザインを作り、発表してみよう!

- ▶ 講師: 下平裕之 (人文社会科学部)・大井沢自然博物館
- ▶ 場所: 西川町立大井沢自然博物館
- ▶ 対象 (人数): 小学生4年生~中学生 (16名)
- ▶ 参加料金: 入館料 (100円)

申し込み開始: 10月3日(月) ※先着順



③ ブラックホールってなんだ!? 作って学んでみよう!

2022年12月10日(土)
13:00 ~ 15:30

最近話題のブラックホール。実際の仕組みはどうなっているのでしょうか? 作って体験して宇宙の不思議を学んでみましょう!

- ▶ 講師: NPO 法人小さな天文学者の会
- ▶ 場所: 山形大学 SCITA センター
- ▶ 対象 (人数): 小学生~中学生 (16名)

申し込み開始: 11月1日(火) ※先着順



Credit: Jordy Davelaar et al. / Radboud University/BlackHoleCam

④ 山形大学の天文台で惑星を観望しよう!

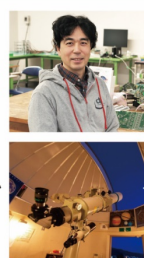
2022年12月10日(土)
17:00 ~ 19:00

月・木星・土星・火星... 私たち地球の周りの惑星たちを天文台で観測しながら宇宙の研究を学んでみましょう!

※悪天候時は室内で短縮プログラムの実施となります。

- ▶ 講師: 中森健之 (理学部)
- ▶ 場所: 山形大学 SCITA センター・ニコニドーム やまがた (やまがた天文台)
- ▶ 対象 (人数): 小学生5年生~中学生 (16名)

申し込み開始: 11月1日(火) ※先着順



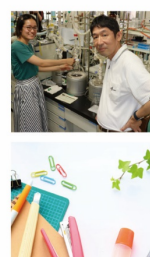
⑤ どの形がいいだろう?ブリッジコンテスト!

2023年2月5日(日)
10:00 ~ 15:30

限られた条件(時間・材料)の中でチームメイトと共にブリッジ(橋)を作ります。君はどんな設計で最強の橋を作るのか?!

- ▶ 講師: 木島龍朗 (理工学研究科)
- ▶ 場所: 山形大学 SCITA センター
- ▶ 対象 (人数): 小学生5年生~中学生 (15名)

申し込み開始: 1月10日(火) ※先着順



⑥ 植物の形をデザインしてみよう(2日間の活動)

2023年2月11日(土) | 2023年2月12日(日)
13:00 ~ 15:00 | 10:00 ~ 12:00

植物ってどうやって成長するのでしょうか? 2日間にわたって植物の成長の仕組みを学びながら実際に植物の形をデザインしてみます!

- ▶ 講師: 宮沢豊 (理学部)
- ▶ 場所: 山形大学 SCITA センター
- ▶ 対象 (人数): 小学生5年生~中学生 (16名)
- ※両日参加できる方のみ

申し込み開始: 1月10日(火) ※先着順



⑦ なりきり大学の先生!? 研究室訪問で実験体験!

2023年2月19日(日)
9:00 ~ 12:00

大学の先生ってどんな研究をしている? 理学部の先生の研究室に行ってみよう! 先生の実験を体験してどんなことが将来できるか考えてみよう!

- ▶ 講師: 河合寿子先生 (理学部) & シークレットの先生
- ▶ 場所: 山形大学 SCITA センター・山形大学理学部
- ▶ 対象 (人数): 小学生4年生~6年生 (16名)

申し込み開始: 1月10日(火) ※先着順



⑧ HAIKU(俳句)でつながる!? ポロニーヤ(イタリア)と山形(日本)

2023年2月23日(木・祝)

※イタリアの学校の都合により日にちに変更が出る可能性があります。また、時間については参加者に12月以降HPにてお知らせします。

イタリアの中学校とオンラインでつながりながら俳句作りや発表会を通じてたがいの文化の共通点と相違点を知ってみよう!

- ▶ 講師: 佐藤琴 (山形大学附属博物館)
- ▶ 場所: 山形大学 SCITA センター・山形大学附属博物館
- ▶ 対象 (人数): 中学生 (15名)

申し込み開始: 1月10日(火) ※先着順



令和4年（2022年）10月6日

山形の火山や鉱物について学ぶ公開イベント ～大人向け公開講座と小学生対象ワークショップを同時開催～

【本件のポイント】

- 高校生以上を対象にした公開講座と小学生向けのワークショップを同時開催し、世代に合わせた教育プログラムを広く地域のみなさまに提供します。
- 両イベントとも、火山などの地球科学をテーマに行います。
- 主催は2022年発足のYU★STEAM（山形大学地域共創STEAM教育推進センター）と、2020年発足のYEX（山形大学エクステンションサービス推進本部）。共催は山形大学災害環境科学研究センター、山形大学蔵王樹氷火山総合研究所、山形大学理学部マグマ学・火山学クラスターです。



【概要】

「リカレント教育（社会人の学び直し）」のニーズ調査や企画を進めるYEX（山形大学エクステンションサービス推進本部）による高校生以上を対象にした公開講座と、「地域の子どもたちに多様な『知（STEAM教育）』を直に届ける山形大学」をミッションに2022年に発足したYU★STEAM（山形大学地域共創STEAM教育推進センター）による小学生とその保護者を対象にしたワークショップを同時開催します。

公開講座では、山形の火山や、活火山とのつきあい方について学びます。ワークショップでは、岩石や鉱物、化石などを収集して保管・展示をしている「地球ミュージアム」の見学や、噴火のシミュレーションなどを行います。本学理学部教員が講師を務めます。

同じ領域のテーマについて、公開講座と小学生向けのワークショップを同時開催し、山形大学の教育プログラムを、世代を問わず広く地域のみなさまに提供いたします。

【開催要項】

開催日／10月30日（日）

◆公開講座「火山の魅力と災害」

時 間／9:30～11:00（受付／9:00～）

会 場／山形大学小白川キャンパス 理学部1号館1階11番教室（受付／理学部1号館1階）

内 容／●「山形の火山の紹介」伴雅雄（火山学）

●「活火山とのつきあい方：富士山の例をもとに」常松佳恵（火山・地球物理学）

●「蔵王山のドローン映像」井村匠（火山学・地質学）・伴雅雄

司会：本山功（地質学・古生物学）

※（ ）内は専門分野

対 象／一般市民・学生・高校生 定員／50人 受講料／500円 ※学生・高校生は無料

申 込／YEX（山形大学エクステンションサービス推進本部）ホームページから

（申込締切：10月25日（火） ※定員になり次第終了）

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

◆「アースワークショップ」

時間／9:30～12:30（受付／9:00～）

会場／山形大学小白川キャンパス SCITA センター／地球ミュージアム（受付／理学部 1 号館 1 階）

内容／●地球ミュージアム探検！ & いろいろ鉱物推理ゲーム（小学生のみ受講）

●どろどろ噴火シミュレーション（小学生と保護者の 2 人 1 組で受講）

講師：加々島慎一（地質学・岩石学）・常松佳恵（火山・地球物理学）

※（ ）内は専門分野

対象／小学 4～6 年生と保護者（小学生と大人の 2 人 1 組でご参加ください）

※9:30～11:00 については、大人の方は同時開催の公開講座「火山の魅力と災害」をご受講ください。

定員／15 組 受講料／1 組 1,500 円 ※大人の方の公開講座受講料込み

申込／YU★STEAM（山形大学地域共創STEAM教育推進センター）ホームページから

（申込締切：10月25日（火） ※定員になり次第終了）

主催／YEX（山形大学エクステンションサービス推進本部）

YU★STEAM（山形大学地域共創STEAM教育推進センター）

共催／山形大学災害環境科学研究センター

山形大学蔵王樹氷火山総合研究所

山形大学理学部マグマ学・火山学クラスター

お問い合わせ

◆公開講座「火山の魅力と災害」について

山形大学エクステンションサービス推進本部

TEL 023-628-4779

メール yu-extension@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

◆「アースワークショップ」について

YU★STEAM（山形大学地域共創STEAM教育推進センター）

TEL 023-628-4506

メール yu-steam@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



子どもから大人まで！
さまざまな角度から火山を学ぶ
スペシャルイベント



対象 一般市民・学生・高校生
(小学生=大学生、大学生以上、専門学生、等)

定員 50人

日時 10月30日(日)
9:30~11:00(受付9:00~)

- 内容**
- 「山形の火山の紹介」(併催館(火山学))
 - 「活火山とのつきあひ方」(富士山の例をもとに) 宮城館(火山学)
 - 「鳳凰山のドローン映像」 伊賀野(火山学)
 - 「阿蘇山」(併催館(古生物学))

会場 山形大学小川川キャンパス
理学部1号館1階11番教室
※受付(9:00~10:00) 山形大学にない方には、各県支店や近隣の支店までのご案内もいたします。支店の営業時間にはお問い合わせください。

費用 500円(当日、受付での支払いとなります)(学生・高校生は無料)

●申込方法

10月25日(火)までに、山形大学エクステンションサービス推進本部のホームページからお申込みください(定員にむかひ次第終了) ▶ <https://www.es-yu.jp/>



●問い合わせ

YEX(山形大学エクステンションサービス推進本部)
電話: 023-428-4777
Eメール: yx-extension@ym.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学の教育プログラムも、広く地域のみなさまへ

「地球の子どもたち」多岐な「知(STEAM教育)」を更に開ける山形大学」をミッションに2023年に誕生したYU★STEAM(山形大学地球共創STEAM教育推進センター)と、「リソント教育(社会人の学び直し)」のコース運営や企画を担うYEX(山形大学エクステンションサービス推進本部)による共同イベントを開催します。

同じテーマについて、大人も子どももさまざまな角度から学べる講座です。

火山の魅力と災害

令和4年度 山形大学公開講座

「地球の子どもたち」多岐な「知(STEAM教育)」を更に開ける山形大学」をミッションに2023年に誕生したYU★STEAM(山形大学地球共創STEAM教育推進センター)と、「リソント教育(社会人の学び直し)」のコース運営や企画を担うYEX(山形大学エクステンションサービス推進本部)による共同イベントを開催します。同じテーマについて、大人も子どももさまざまな角度から学べる講座です。



主催 山形大学エクステンションサービス推進本部
山形大学地球共創STEAM教育推進センター

共催 山形大学員会地学科学センター
山形大学地学共創STEAM教育推進センター
山形大学理学部マダマ学・火山学クラスター



子どもから大人まで！
さまざまな角度から火山を学ぶ
スペシャルイベント



対象 小学4~6年生と保護者
(小学生は大人の2人1組でご参加ください)

定員 15組

日時 10月30日(日)
9:30~12:30(受付9:00~)

- 内容**
- 9:30~地球ミュージアム探検! いろいろな地物探検ゲーム(小学生のみ参加)
9:30~11:00については、大人の方は有償観覧の公開館「火山博物館と冥府」(併催は国史)をご訪問ください
 - 11:15~どろどろ噴火シミュレーション!
(小学生と保護者の2人1組で参加)
 - 観劇: 阿蘇山身代(地学専攻学生)・常盤館(火山学)

会場 山形大学小川川キャンパス 理学部
SCITAセンター/地球ミュージアム
※受付(9:00~10:00) 山形大学にない方には、各県支店や近隣の支店までのご案内もいたします。支店の営業時間にはお問い合わせください。

受講料 1組1,500円
(当日、受付での支払いとなります)(大人の2名のみ参加費無料です)

●申込方法

10月25日(火)までに、YU★STEAMのホームページからお申込みください(定員にむかひ次第終了) ▶ <https://yu-steam.com/>



●問い合わせ

YU★STEAM(山形大学地球共創STEAM教育推進センター)
電話: 023-628-4506 / Eメール: yu-steam@ym.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学の教育プログラムも、広く地域のみなさまへ

「地球の子どもたち」多岐な「知(STEAM教育)」を更に開ける山形大学」をミッションに2023年に誕生したYU★STEAM(山形大学地球共創STEAM教育推進センター)と、「リソント教育(社会人の学び直し)」のコース運営や企画を担うYEX(山形大学エクステンションサービス推進本部)による共同イベントを開催します。同じテーマについて、大人も子どももさまざまな角度から学べる講座です。

化石や鉱物、火山から「地球」を学ぶ!

EARTH WORKSHOP

アースワークショップ

「地球の子どもたち」多岐な「知(STEAM教育)」を更に開ける山形大学」をミッションに2023年に誕生したYU★STEAM(山形大学地球共創STEAM教育推進センター)と、「リソント教育(社会人の学び直し)」のコース運営や企画を担うYEX(山形大学エクステンションサービス推進本部)による共同イベントを開催します。同じテーマについて、大人も子どももさまざまな角度から学べる講座です。



主催 山形大学エクステンションサービス推進本部
山形大学地球共創STEAM教育推進センター

共催 山形大学員会地学科学センター
山形大学地学共創STEAM教育推進センター
山形大学理学部マダマ学・火山学クラスター

令和4年（2022年）10月6日

山形大学認定ナセバース研究グループ設立

～メタバースやロボット・IoTを活用し地域コミュニケーション支援～

【本件のポイント】

- メタバースなどのVR技術やロボット等を活用し、学生・教員・研究者が垣根を越えて集まり、地域に根ざした新しいコミュニケーション支援システムを開発する拠点として大学認定研究グループ『ナセバース』を設立（2022年6月2日）
- 『ナセバース』とは、本研究グループによる「メタバース」等を活用した地域の振興・発展を期して、米沢藩中興の祖・上杉鷹山公の「なせば成る」の冒頭部分を冠した造語。（なせば成る + メタバース = 『ナセバース』）
- ナセバースは、学生・教員・社会人が身分職種・学年・学部・大学間の垣根を越え結集しメタバース等のVR技術、対話ロボットやICT技術を活用し地域のコミュニケーション支援ツールを開発する日本初の研究拠点。今後、教育や介護分野などへの応用が期待される。



【概要】

アフターコロナの働き方・ライフスタイルの変化に対応すべく、地域に暮らす児童生徒から現役世代・さらに高齢者まで幅広い世代の人たちの交流を深め、心身ともに豊かな生活に資する新たなコミュニケーション支援ツールによる仕組みづくりが求められています。本学で「メタバース」やICT・ロボット開発に携わる学生・教員・研究者が集まり『ナセバース』研究拠点を立ち上げました。いままで培ったIoT/ICT・ロボット技術とメタバース技術、そして教育現場・介護現場での知見を融合し、地域のコミュニケーション支援、産業振興に役立つシステム開発を目指します。

【背景】

インターネット上やゲームの世界など、現実とは異なる空間に存在する3次元の仮想空間「メタバース」は、ここ数年において世界中で関心が集まってきており、ビジネスや教育・観光といった分野で導入の検討が進められています。また、対話が可能なロボットやペットロボット等を駆使した見守りなど各種支援システムが開発・運営されています。本学でも、学生サークルであるVR（バーチャル・リアリティ）部において「メタバース」を活用したバーチャルオープンキャンパスやケヤキ並木の3Dデータ化、といった活動がおこなわれています。これら「メタバース」やICT・ロボット等を活用し、アフターコロナ時代の教育や介護、他のさまざまな分野で児童から現役世代・高齢者まで幅広い世代の地域の人たちの交流を深める場をつくろうと、学年・身分・学部学科の垣根を越えた学生・教員・研究者が結集して「ナセバース」研究拠点を立ち上げ、2021年6月2日山形大学認定研究グループの承認を受けました。今まで培ったロボットやメタバース技術を融合し活用することで、世代間・年代間をつなぐ新たなコミュニケーションツールによる仕組みづくりを目指します。

【研究手法と展望】

メンバーはIoTセンサシステムを用いた感情表現エンジン開発や次世代ロボットシステムを開発している教員、カウンセラー、VR部の学生・マイコン試作やプログラミングに興味のある学生等から構成され、ハード/ソフトウェア双方によるシステム開発を通して、教育・介護などの現場の声や専門的な知見を融合しつつ山形地域からコミュニケーション支援に役立つツールの開発を目指します。現在、教員・学生等あわせて総勢20名。複数のグループに分かれて試作開発を進めており、山形大学内でのメーカーフェアの開催やメーカーフェア東京への出展なども計画中。

メタバースは大学の授業やオリエンテーション、オープンキャンパス等にも使用されてきていますが（例：東京大学が中高生・社会人教育プラットフォームとして「メタバース工学部」設立(7/21)、広島工大と北大の非公認サークルが「全国メタバースサークル連盟」設立(9/15)など）、学生や教員、社会人が学科や学部・大学の垣根を越えて結集し、教育・介護などの現場の声や専門的な知見を融合しつつ山形地域からコミュニケーション支援に役立つツールを開発し世界へ発信していく『ナセバース』の活動は、日本初。

お問い合わせ 学術研究院准教授 横山 道央（電子デバイス工学）
TEL 0238-26-3315 メール yoko@yz.yamagata-u.ac.jp
URL <https://naseverse-lab.yz.yamagata-u.ac.jp/>

令和4年（2022年）10月6日

山形大学

株式会社サタケ

米糠タンパク質濃縮物からの代替肉調製に成功 ～国内産原料からの代替肉製造による持続的な稲作の可能性～

【本件のポイント】

- 企業（株式会社サタケ）と共同開発したIP-EWT法により得られたアレルギー・GMOフリー高濃度米タンパク質抽出物から調製された代替肉は、大豆タンパク質製造された代替肉と同様な微細構造、弾力性を有することが認められた。
- 米タンパク質、さらに、脱脂米糠から製造された代替肉は世界初。
- 本研究成果により、代替肉原料の選択肢が広がり、国内自給が可能で国内産原料で安心・安全な代替肉生産が期待される。



【概要】

山形大学学術研究院 渡辺昌規教授(バイオマス資源学)の研究チームは、株式会社サタケ（代表取締役社長：松本和久）との共同研究により開発した、米糠より米油を抽出する際に発生する副産物（脱脂米糠）から、高濃度・高栄養価・安全性の高い（アレルギー・GMOフリー）米タンパク質を製造する技術（IP-EWT法）により得られたタンパク質を原料とした代替肉の開発に初めて成功しました。

肉などの動物タンパク質は、製造、輸送の過程で大量の温室効果ガスを発生するとともに、食肉輸入国は、家畜の飼育に必要とされる水資源をバーチャルウォーターとして世界中から搾取していると言われており、環境への負荷が危惧されています。これらを背景に、大豆などの植物タンパク質を原料とした代替肉及び代替肉加工品の開発・市場導入が世界規模で進められています。

研究チームは、本特許技術により得られるタンパク質が高濃度・固形状態で回収・精製されることに着目。米糠タンパク質を原料とした、代替肉（フェイクミート）の開発を目指し、本タンパク質の物理化学・栄養機能特性の解析、代替肉調製方法の確立を進めてきた。その結果、大豆タンパク質製造された代替肉と同様な微細構造、弾力性を示し、さらに、国内産原料で安心・安全な米糠由来タンパク質の代替肉への実用・事業化の可能性が示されました。

【背景】

上記、動物タンパク質の環境負荷問題に加え、米油製造現場において、原料（生糠）に対し、80%以上（重量ベース）に達する副産物として、大量の脱脂米糠が発生することから、これらの利活用は長年の課題となっていました。研究チームは、脱脂米糠に含有するタンパク質の利活用の促進を目指し、脱脂米糠からの効率的なタンパク質回収・精製技術である「米副産物のリン及びタンパク質の連続回収方法（特許第5819601号）」を開発。さらに、2015年、県内企業との共同研究により、パイロットプラント（原料）の設置。2018年は、上記特許技術に電解水洗浄を組み合わせたIP-EWT法を開発し、より高濃度・高収率米糠タンパク質生産技術を確立しました。本法の開発後、米糠タンパク質の有効利活用方法の一環として、代替肉、栄養補助食品（サプリメント）、食品添加物原材料としての適用性について研究を進めてきました。

【研究手法・研究成果】

代替肉の製造方法として、タンパク質を合成してタンパク質構造物を生成するボトムアップ（bottom-up）方式に対し、植物タンパク質などの既存タンパク質からタンパク質構造物を合成するトップダウン（top-down）方式は、原料・製造コストが低く、現在市販されている、大豆由来の代替肉は、このトップダウン方式により製造されています。そこで研究では、本技術（IP-EWT法）により生成された米糠タンパク質のトップダウン方式への適用性について、検討を行いました。3種類の親水コロイド（多糖質）を副原料とした代替肉の調製試験を行った結果、全ての代替肉サンプルにおいて、動物肉（牛、豚、鳥）の水分保持率を超える値を示すとともに、大豆タンパ

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

ク質よりも吸油性が高いことから、水分と油脂の調和のとれた素材であることが確認されました。また、テクスチャー（硬さ、脆さ、弾力）解析の結果、米糠タンパク質は、大豆タンパク質と同様に、3種類の親水コロイド間で異なった特性を示し、多孔質構造を有するサンプルでは、より柔らかく、弾力を有する特徴を有することが明らかとなりました。これらの結果より、本法により生成された米糠タンパク質は、大豆タンパク質同様に代替肉原料として利用可能な植物タンパク質原料であることが明らかとなりました。

当該研究活動に対し、農芸化学研究企画賞（日本農芸化学会、2019年）、山形大学 SDGs 表彰（YU-SDGs Award）2021 優秀賞、NEDO-TCP 審査員特別賞（2022年）の各賞を受賞しています。

【今後の展望】

本技術の確立・事業展開により、従来の白米を生産する農業から、白米+タンパク質を生産する農業への転換により、収益性が高く、持続可能な稲作への転換が期待されます。また当該タンパク質の高齢者への効率的な供給により、サルコペニア（筋肉量低下）予防による、健康寿命と平均年齢の差の縮小に貢献したいと考えています。

【参考動画】

山形大学オープンイノベーション推進本部・研究シーズ紹介動画「FUTURE MAKER」
「お米を世界のタンパク質源に～未利用国内産米糖を活用した米タンパク質の製造～」
<https://www.youtube.com/watch?v=XIsNes0g078>

※用語解説

1. 代替肉：模造肉、フェイクミート、ミートアナログとも呼ばれ、植物由来タンパク質を原料とした肉に近い食味・食感を有する肉様食品。
2. アレルゲン：アレルギー症状を発生するタンパク質（抗原）を示す。食物アレルギー症状を引き起こすことが明らかな食品のうち、特に発症数、重篤度から換算して表示する必要性の高いものとして、特定7品目（卵、乳、小麦、えび、かに、落花生、そば）が挙げられ、表示義務化されている。
3. GMO：遺伝子組み換え農作物（GMO: genetically modified organism）と呼ばれ、ある生物から有用な遺伝子を取り出し、別の生物の遺伝子に挿入することによって開発された作物で、大豆、トウモロコシなどがある。生物多様性やアレルギー症状発症などに対する懸念や意見がある。
4. サルコペニア：加齢による筋肉量の減少および筋力の低下により発生する疾病の総称。

お問い合わせ

学術研究院教授 渡辺昌規（バイオマス資源学）

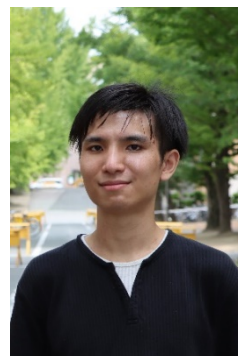
TEL 0235-28-2848 メール mwata@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

令和4年（2022年）10月6日

人文学部法経政策学科法律コース （現・人文社会科学部総合法律コース）から法曹の道へ

【本件のポイント】

- 人文社会科学部総合法律コースでは、法学部と同様の体系的な法学教育プログラムを通じて法的リテラシーと法的思考方法を身につけることができます。
- 人文学部法経政策学科法律コース（現・人文社会科学部総合法律コース）卒業生（民法ゼミ所属）が令和4年司法試験に合格しました。
- 法律コース（現・総合法律コース）では、今後も法律の分野において東北各県で活躍する人材を育成します。



【概要】

人文学部法経政策学科法律コース（現・人文社会科学部総合法律コース）卒業生（民法ゼミ所属）の木俣哲さんが、令和4年司法試験に合格しました。木俣さんは2019年3月に人文学部法経政策学科法律コースを卒業、2020年4月に東北大学法科大学院（既修者コース）に進学、2022年3月に修了し、1回目の挑戦で見事に合格を勝ち取りました。学部でも法科大学院でもいわゆる司法試験予備校には通わずに、大学の講義や演習を通じて実力をつけてきました。

本学部本コースの卒業生からは、ここ10年では2010年、2011年、2015年、2016年、2018年、2020年に各1名と、継続的に司法試験合格者を出しており、山形県、宮城県、福島県といった東北地方で弁護士として活躍しています。総合法律コースでは、法律学の基礎的知識を修得したうえで、学際的および実践的視点を養う教育プログラムを提供します。プログラムの履修によって幅広く応用可能な法的思考能力が身につきます。体系的かつ実践的な教育を通じて法律学の視座から地域社会の課題解決に取り組むことのできる人材を育成しています。今回のように法曹界で活躍する人材はもとより、公務員など東北各県の様々な分野で活躍する人材の育成を引き続き行ってまいります。

【背景】

人文社会科学部総合法律コースでは、法学部と同様の体系的な法学教育プログラムを通じて法的リテラシーと法的思考方法を身につけることができ、卒業生には「学士（法学）」が授与されます。東北地方の国公立大学で学士（法学）を授与するのは東北大学法学部の他に、本学部本コースと福島大学人文社会学群行政政策学類のみです。総合法律コースからは毎年複数人が法科大学院に進学しており、継続的に司法試験合格者を出しています。

本コースでは法科大学院進学を目的とした「法曹コース（連携法曹基礎課程）」を設置していませんが、本コースで提供する講義を受講することにより、学生のキャリアへの多様な要望に応えることが可能となっています。

【木俣さんのコメント】

司法試験に一回で合格できた要因は、学部生時代に法律科目の講義をしっかりと受けていたことにあると感じています。山形大学には、法科大学院既修者コースの講義をしっかりと理解し、司法試験合格を目指せるだけの法律知識を得ることができる学習環境が整っています。そのような環境を与えてくれた山形大学には非常に感謝していますし、在校生の皆さんには、司法試験を目指すかどうかはともかく、この環境を活かし、積極的に法律を学んでほしいです。

木俣さんのコメントについては人文社会科学部ホームページもご覧ください。

<https://www-hs.yamagata-u.ac.jp/news/news/6073/>

お問い合わせ

学術研究院教授 小笠原奈菜（民法学／人文社会科学部主担当）

TEL 023-628-4063 メール oga@human.kj.yamagata-u.ac.jp

令和4年(2022年)10月6日
山形大学

* 詳細は別添の資料をご覧ください。

1. 山形大学アグリフードシステム先端研究センター（YAAS）キックオフイベントを開催します

山形大学は全学組織として、7月1日に「山形大学アグリフードシステム先端研究センター（YAAS）」を鶴岡キャンパスに設置。今回発足イベントとして、開所記念式典および記念講演会を開催します。

【日時】 令和4年10月17日（月） 受付：午後1時00分より 開式：午後2時00分より

【会場】 東京第一ホテル鶴岡（鶴岡市錦町2番10号）

2. 山大生が地元企業の若手社員を取材・情報発信～Instagram「働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業」第3弾～

若年層における山形県村山地域での就職・定住への関心を高めるため、学生が村山地域の企業で活躍する若手社員を取材し、山形県村山地域で働くことの良さ、暮らすことの良さ等を、学生の視点から紹介した記事を2020年度からInstagramで発信しています。

2022年度は人文社会科学部・工学部の学生26名が分担して企業20社に訪問し、取材を行っています。学生と年齢の近い社員に対してインタビューを行って、村山地域で働くことや暮らすことの良さを聞き取っています。取材先企業は製造業、建設業、卸売・小売、各種サービス業です。

また、今年度からの新たな取組として、企業を紹介する短時間動画を掲載します。

取材記事は10月14日からInstagram（アカウント @yamagata.work_life）に掲載を開始し、1月末にかけて順次掲載していきます。ぜひご覧ください。

【取材記事の掲載先】

Instagramアカウント @yamagata.work_life
「働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業」



YAMAGATA.WORK.LIFE

3. 公開講座「小説を書こう！」受講者を募集します

山形大学では2014年度以降毎年開催している公開講座「小説を書こう！」を今年度も開講します。受講される方は自作未発表の小説を提出していただき、合評と直木賞作家の高橋義夫さんのアドバイスを受けることができます。なお、県外など遠隔地からのオンラインでの受講も可能です。

4. 旧米沢高等工業学校のレインボーライトアップで性の多様性PR～県内初の「やまがたカラフルパレード」との協働、LGBTQの理解促進～

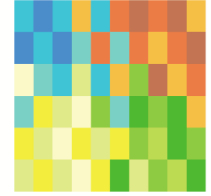
2022年10月29日から3日間、山形大学米沢キャンパス旧米沢高等工業学校本館（重要文化財）が性の多様性のシンボルカラーである「赤、橙、黄、緑、青、紫」の6色にライトアップされます。10月30日（日）に山形市内で行われる「やまがたカラフルパレード」とともに、性の多様性への理解を促す試みです。ライトアップの時間は、17時から22時。

令和4年（2022年）10月6日

山形大学アグリフードシステム先端研究センター（YAAS） キックオフイベントを開催します

【本件のポイント】

- 山形大学は全学組織として、7月1日に「山形大学アグリフードシステム先端研究センター（YAAS）」を鶴岡キャンパスに設置。今回発足イベントとして、開所記念式典および記念講演会を開催します。



YAAS
YAMAGATA UNIVERSITY
ADVANCED AGRI-FOOD SYSTEM
RESEARCH CENTER

【概要】

山形大学は、アグリフード科学及びシステム化に関する研究力強化のため、全学の教育研究支援組織として、令和4年7月1日付で「山形大学アグリフードシステム先端研究センター（YAAS）」を鶴岡キャンパスに設置しました。これまで同キャンパスで進めてきた食料自給圏（スマート・テロワール※1）の研究成果と、全学的な先進的研究拠点（YU-COE※2）の研究成果を有機的に融合させ、大学・研究機関、関連企業、農業従事者等が共創したオープンイノベーションによって、農と食を繋ぐスマートアグリフードシステムの確立を目指します。このたび、当センターの開所を記念して、10月17日（月）に鶴岡市の東京第一ホテル鶴岡において記念式典および記念講演会を開催します。当センターの活動および取り組みを多くの皆様にご覧いただく機会になれば幸いです。

【日時】 令和4年10月17日（月） 受付 午後1時00分より

開式 午後2時00分より

【会場】 東京第一ホテル鶴岡（鶴岡市錦町2番10号）

【式次第】

第1部 開所記念式典 14:00~14:30（会場：1階 鳳凰の間）

- ①開式の辞
- ②式 辞（学長 玉手英利）
- ③来賓祝辞
- ④センター紹介（農学部長 村山秀樹）
- ⑤閉式のこたば

第2部 記念講演会 14:40~16:30（会場：1階 鳳凰の間）

- ①基調講演（東北農政局）
- ②研究紹介

※用語解説

1. スマート・テロワール=循環型農業、耕畜連携・農工連携・工商連携、地産地消をキーワードに、市場経済に代わる、畑作を中心にした生産者・加工業者・小売業者・消費者など地域に暮らす皆が繋がる経済の仕組み。
2. YU-COE=山形大学先進的研究拠点。令和2年度に設置されたC拠点「SDGsに貢献する食・農・環境研究拠点」が今回のYAAS設置の基盤となった。同拠点は令和4年度からS拠点に昇格し、将来のYAASを支える新たな研究シーズの発掘や共同研究の推進の役割を担っていく。

お問い合わせ：鶴岡キャンパス事務部総務課総務担当

TEL 0235-28-2805

メール yu-nosyomu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

令和4年（2022年）10月6日

山大生が地元企業の若手社員を取材・情報発信 ～Instagram「働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業」第3弾～

【本件のポイント】

- 若年層の県外流出という山形県の課題解決に資するため、山形大学の学生が、山形県村山地域の企業で活躍する若手社員を取材し、情報発信を行う
- 3年目となる今年度は製造業、建設業、卸売・小売、各種サービス業の20社を取材対象とし、閲覧者層の拡大を目指す
- 今年度から、企業を紹介する短時間動画の企画・撮影・編集にも取り組んでいる



(株) 鈴木製作所（山形市）への取材

【概要】

若年層における山形県村山地域での就職・定住への関心を高めるため、学生が村山地域の企業で活躍する若手社員を取材し、山形県村山地域で働くことの良さ、暮らすことの良さ等を、学生の視点から紹介した記事を2020年度からInstagramで発信しています。

2022年度は人文社会科学部・工学部の学生26名が分担して企業20社に訪問し、取材を行っています。学生と年齢の近い社員に対してインタビューを行って、村山地域で働くことや暮らすことの良さを聞き取っています。取材先企業は製造業、建設業、卸売・小売、各種サービス業です。

また、今年度からの新たな取組として、企業を紹介する短時間動画を掲載します。動画編集のプロクリエイターから指導を受けながら、学生が中心となって動画の企画から撮影・編集まで行っているところです。

取材記事は10月14日からInstagram（アカウント @yamagata.work_life）に掲載を開始し、1月末にかけて順次掲載していきます。ぜひご覧ください。

なおこの事業は、2020年度から人文社会科学部やまがた地域社会研究所が山形県村山総合支庁から受託して実施しており、取材した学生自身にも、山形での就職への関心を高めるきっかけになることを期待しています。

【取材記事の掲載先】



Instagramアカウント @yamagata.work_life

「働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業」



YAMAGATA.WORK.LIFE

※Instagramのハッシュタグ #よしよしむらやま でも記事を検索できます。

※Instagramの記事をまとめたものは山形県ホームページでも公開しています。

https://www.pref.yamagata.jp/301041/sangyo/sangyoushinkou/murayamachiikikigyou/yoshiyoshi_murayama.html

【これまでの成果】

2020年度は20社で118本、令和3年度には25社で149本の記事を作成してInstagramで配信し、昨年度3月末時点で計8万4千インプレッションの閲覧がありました。



Instagramの掲載例（2021年度）

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

【令和4年度の新たな取り組み】

従来の写真と文章を中心とした記事の掲載に加えて、企業紹介の短時間動画を掲載する予定です。現在、動画編集のプロクリエイターから指導を受けながら、学生が中心となって動画の企画から撮影・編集まで行っているところです。これまで以上に若手社員や職場の雰囲気が伝えられるよう工夫しています。

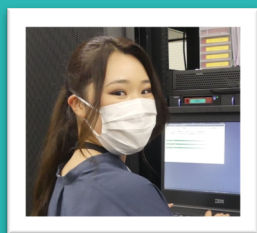
お問い合わせ

学術研究院准教授 吉原 元子（人文社会科学部担当）

TEL 023-628-4256 メール motoko@human.kj.yamagata-u.ac.jp

Let's Find it Together!
2022

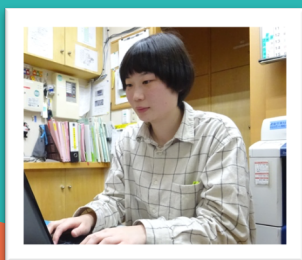
働いてよし
暮らしてよし
むらやまの企業



山形県村山地域で活躍する若手社員を山形大生が取材！

登場する若手社員は65人以上！

インスタグラムで“むらやま”の魅力を見つけよう！



YAMAGATA.WORK.LIFE

 #よしよしむらやま

 #山形で働く

令和4年度 働いてよし、暮らしてよし 村山の企業情報発信事業
山形県村山総合支庁産業経済部地域産業経済課 TEL 023-621-8438
受託：山形大学人文社会科学部やまがた地域社会研究所

掲載企業一覧

令和4年度 働いてよし、暮らしてよし 村山の企業情報発信事業



<山形市>

愛和建设 (株)
税理士法人あさひ会計
(株) ウンノハウス
(株) 鈴木製作所
高橋畜産食肉 (株)
テガラ (株)
日本地下水開発 (株)
ミクロン精密 (株)
(株) メコム
山形酸素 (株)

<上山市>

(株) 片桐製作所
(株) カトーコーポレーション

<天童市>

野川商事グループ

<東根市>

アイジー工業 (株)
(株) 山形共和電業

<寒河江市>

佐藤繊維 (株)
(株) マイスター
(株) リプライ
TPR工業 (株)

<村山市>

和光電機通信工業 (株)

(順不同)

令和2~3年度に取材した企業

<山形市>

(株) アサヒマーケティング
アリオンテック (株)
(株) ウンノハウス
(株) サニックス
サンフウ精密 (株)
(株) 鈴木製作所
スズキハイテック (株)
第一貨物 (株)
田宮印刷 (株)
(株) でん六
東北電化工業 (株)
ミクロン精密 (株)
ミドリオートレザー (株)
(株) メドテック
(株) ヤマコー
山形パナソニック (株)
(株) YCC情報システム

<上山市>

(株) 片桐製作所

<寒河江市>

(特非) あじさい
佐藤繊維 (株)
(株) スガサワ
(株) スペースパーツ山形
日東ベスト (株)
(株) マイスター
TPR工業 (株)

<東根市>

アイジー工業 (株)
山形カシオ (株)
(株) 山形サンケン
(株) 山本製作所

<村山市>

(株) コヤマ
蔵王米菓 (株)
ナブテスコオートモーティブ (株)
山形螺子工業 (株)

<天童市>

(株) デンソーFA山形
日新製薬 (株)

<尾花沢市>

オブテックス工業 (株)

<大江町>

(株) 小堀製作所

(順不同)

インスタグラムのまとめ記事 (詳細版) は
山形県ホームページにも公開中!
「働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業」



令和4年（2022年）10月6日

公開講座「小説を書こう！」受講者を募集します

【本件のポイント】

- 小説家を目指す方も趣味で小説を楽しみたい方も受講できる公開講座
- 直木賞作家 高橋義夫氏が指導
- 前半（12月まで）は3年ぶりに対面での開講を予定。後半（1月以降）の形式は感染状況を鑑み後日決定。（前半についてもメールマガジンは配信します。また感染状況が悪化した場合は通信指導形式に切り替える場合があります。）
- 対面開講の場合、遠隔地在住または日程不都合等の事情がある方や希望者にはオンライン（Zoom）か録画で配信。



右下が高橋義夫氏

【概要】

山形大学では平成26年度以降毎年開催している公開講座「小説を書こう！」を今年度も開講します。受講される方は自作未発表の小説を提出していただき、直木賞作家の高橋義夫さんのアドバイスを受けることができます。全作品とアドバイスは受講生全員に配付します（10回程度の送付を想定）。加えて交流・情報交換のため携帯電話・PC等にメールマガジンを配信します。山形大学学術研究院の山本陽史教授（日本文学）がサポートします。プロを目指す方も趣味として小説を書き続けたい方も奮ってご参加ください。なお、県外など遠隔地からのオンラインでの受講も可能です。

- 日 程：令和4年11月10日(木)～令和5年2月9日(木) ※延長する場合があります。
（前半の対面開催は12月15日までの毎週木曜18:00～19:30）
- 会 場：山形県生涯学習センター「遊学館」（山形県山形市緑町1丁目2-36）
- 形 式：対面または通信指導（感染状況によって形式が変更となる可能性があります。）
- 受講料：一般 6,000円／大学生・高校生 2,000円
※お申込み後、指定の口座をお知らせしますので、受講前までにお振込みください。
- 受講資格：高校生以上であればどなたでも受講できます。
- 講 師：高橋義夫氏（作家）1945年生まれ。早稲田大学文学部フランス文学科卒業。「狼奉行」で直木賞受賞。近著に『火付盗賊改』（中公新書）
山本陽史（山形大学教授（日本文学））著書に『藤沢周平の山形』（山形大学出版会）など。
- 定 員：30名（申込順に受け付け、順次受講票をお送りします。）
- 受 付：10月17日(月)～11月2日(水)（定員に達し次第終了。）
- お申込み：Web申込フォームまたはFAXにてお申し込みください。（電話でのお申込みは受け付けておりません。）

〔Web申込フォームでのお申込み〕 <https://www.yamagata-u.ac.jp/form/r4shousetsu/entry>

〔FAXでのお申込み〕 023-628-4144



（お問合せ先）

■お申込みに関すること

エンrollment・マネジメント部入試課

Tel：023-628-4062

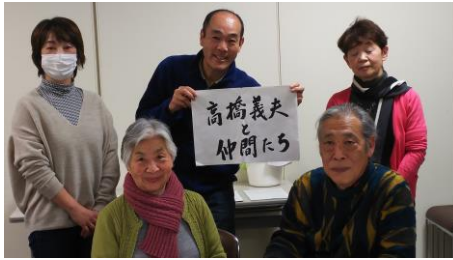
■講座の内容に関すること

学術研究院教授（EM部担当）山本陽史

e-mail：yamaharu★yz.yamagata-u.ac.jp

（メールアドレスの★は@に置き換えてください。）

令和4年度山形大学公開講座
「小説を書こう！」
受講者募集



直木賞作家高橋義夫さんを講師に招き、山本陽史本学
学術研究院教授とともに小説の書き方を指導する講座
です。2014年から開講しています。プロの小説家を目指
す方、趣味として小説を書きたい方、小説が生まれるプ
ロセスを知りたい方、年齢・性別・職業を問わずどなた

高橋義夫氏(右下)でも受講できます。未発表作品を提出していただきます。受講生
の交流・情報交換のため、提出作品と講師のアドバイス、他の受講生の感想を掲載した
メールマガジンを随時発行します(希望者には印刷して郵送します)。

※前半(12月15日まで)は3年ぶりに対面での開講を予定します(感染状況によつ
ては通信指導方式に切り替える場合あり)。後半の開講形式は感染状況を鑑み後日決定
します。遠隔地在住・日程不都合等の事情や希望により前半期間もオンラインまたは録
画配信します。メールマガジンも配信します。

日 程 : 令和4(2022)年11月10日~令和5年2月9日(予定)
毎週木曜18時~19時半(12/15まで確定)
会 場 : 山形県生涯学習センター「遊学館」(山形県山形市緑町1丁目2-36)
受 講 料 : 一般 6,000円/大学生・高校生 2,000円

※お申込み後指定の口座をお知らせしますので、講座開始までにお振込みください。
振込手数料は受講者負担となります。

定 員 : 30名 ※先着順に受け付け、順次受講票をお送りします。
申込期間 : 10月17日(月)~11月2日(水)(定員に達し次第終了。)
申込方法 : Web申込フォームまたはFAXにてお申し込み下さい。
※電話での申込は受け付けておりません。ご了承下さい。

①Web申込フォームの場合

<https://www.yamagata-u.ac.jp/form/r4shousetsu/entry>

②ファックスの場合

下の申込票に記載のうえ、FAX番号023-628-4144へ送信してください。

備 考 : ・作品提出方法はお申込み後に直接ご連絡します。
・大学に作品を郵送等される場合の料金は各自ご負担いただきます。

お問合せ : 山形大学エンrollment・マネジメント部
〒990-8560 山形市小白川町1-4-12 TEL:023-628-4062
Mail:yu-enroll@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



申込票

山形大学公開講座「小説を書こう！」の受講を申し込みます。

お名前(振り仮名も):	区分(どちらかに○): 一般 大学生・高校生
ご住所:〒	
携帯電話番号:	ファックス(任意):
電子メールアドレス(携帯アドレスも可):	

令和4年（2022年）10月6日

旧米沢高等工業学校のレインボーライトアップで性の多様性PR ～県内初の「やまがたカラフルパレード」との協働、LGBTQの理解促進～

【本件のポイント】

- 山形大学米沢キャンパス旧米沢高等工業学校本館（重要文化財）を性の多様性のシンボルカラーである「赤、橙、黄、緑、青、紫」の6色にライトアップする。
- ライトアップは、山形県内で初めて行われるLGBTQに関するパレード（やまがたカラフルパレード）とのコラボレーション。
- 「山形大学における多様な性に関するガイドライン」の周知も行い、誰しもが、自分らしく大学生活を、自分らしく社会生活を送れる社会の実現へのサポートを表明する。



【概要】

（レインボーライトアップが予定されている旧米沢高等工業学校本館）

2022年10月29日から3日間、山形大学米沢キャンパス旧米沢高等工業学校本館（重要文化財）が性の多様性のシンボルカラーである「赤、橙、黄、緑、青、紫」の6色にライトアップされる。10月30日（日）に山形市内で行われる「やまがたカラフルパレード」とともに、性の多様性への理解を促す試み。ライトアップの時間は、17時から22時。

山形大学では、2021年2月に「山形大学における多様な性に関するガイドライン」を公開した。また、教職員向けの研修で、多様な性があること、性的マイノリティの当事者が直面する悩みや困りごと、当事者ではないが周囲ができることなどを考える機会を設けている。しかし、学内でもガイドラインの存在を知らなかったという声も多く、周囲の無理解から学生や教職員が悩みを抱えやすい現状がある。

山形大学では、セクシュアリティに関する個別相談の他にも、多様な性について語り合える場「カラフルCafé」を小白川キャンパスと米沢キャンパスで開催している。誰ひとり取り残さない社会の実現に向けて、様々な方面から多様な性の理解促進を試みる。

【背景】

多様な性の理解促進に関連し、自分らしく生きられる人や、理解者を増やすことを目的に、山形県内では初めてのLGBTQなどのパレードが10月30日に開催を予定されている。いわゆる性的マイノリティに対する偏見、差別、無理解、ハラスメントは、多様な性の理解者を増やすことで減じることができる。レインボーライトアップは6月（プライド月間）や12月の人権強化月間に行われることが多いが、今回は下記のパレードにあわせた形で行うことが決定した。

【やまがたカラフルパレードについて】

目的：「多様な性」がより尊重される山形をつくっていく

日時：2022年10月30日（日） 14:00 パレード開始

スタート：山形市 第二公園（山形県山形市十日町4丁目）

ゴール：文翔館前広場（山形県山形市旅籠町3-4-51）

パレードの情報：パレードの情報については、ツイッターのアカウント(@yamagataparade)から随時発信
やまがたカラフルパレード実行委員会には、山形大学の学生や教員も参加している。

お問い合わせ

学術研究院 准教授 中澤未美子（なかざわ みみこ）

TEL 0238-26-3034 nakazawa.mimiko@yz.yamagata-u.ac.jp